

一九八七年一〇月五日 総会記録

一九八八年度会費について、決算状況から会費は据置くことが承認された。

一、議長選出 議長 服部治則氏

二、事務局報告

(1) 一九八七年度事業報告（高山）

一九八三年一月二一日第一回運営委員会開催、一二月一三日第二回運営委員会開催、第一回研究会を一九八七年一月七日慶應大学で開催等「通信」で既に報告した通りであり、「通信」も一四七号より一五〇号まで四回発行した。

(2) 共通課題について

当日開催された運営委員会では、「土地と村落」は三年続いたことから新しい課題について、大会中に事務局に意見を提出してもらうことに決定された旨報告。

(3) 会員動向・八七年一〇月五日現在

会員数三三三名（前年度より四名減）
新入会員七名 退会員九名 死亡者二名

三、会計報告・監査報告

一九八七年度決算は別記の通りであり、皆川勇一会員から前記会計報告の決算が適正である旨の報告があり、承認された。なお、

四、一九八八年度大会事務局・大会開催地について

大会事務局は明治大学長谷川昭彦会員が引き受け、開催地は、神奈川県を中心とした関東とする旨、長谷川会員より報告され、承認された。

五、一九八八年度村研事務局について

一九八八年度村研事務局は、「農業研究センター」工藤清光会員が担当する。

六、編集委員会報告

安原委員から、「村落社会研究」の発行につき、お茶の水書房よりその出版を受け難いとの申し入れがあり、これに関して、安孫子会員のお世話で「農文協」と折衝し、「農文協」より、第二四集から発行することになった旨の報告がなされ承認された。（なぞの経緯については一部を既に「通信」一四八号でお報せした）

七、学術会議関係報告

学術会議、推薦人、研究連絡員の改選につき、柿崎会員より、その事務手続きを担当された経緯の説明があり、村研として社会学部会に推薦人として島崎稔会員を推薦することが承認された。

以上